



校長室 だより
 尼崎市立常陽中学校 No.10

平成27年10月 1日
 校長 小谷 豪郎

長い夏休みが明け、2学期が始まって改めて頑張ろうと気合いを入れ直したところで、シルバーウィークの5連休、2年生はその前に「トライやるウィーク」もあり約2週間も学校での学習から遠ざかっていましたが、各自で家庭学習の時間はちゃんと確保できていましたか。3年生の皆さんは、当然計画的に有効な時間を過ごせたことと思いたくはありますがどうでしたか。以前の学習状況調査の結果を観ていますと、宿題以外に自主的な家庭学習にかける時間が1時間以下の生徒が、全くしないという生徒も含めると、1年生も2年生も約60%程度にもなるという状況でした。

昨年度から高校入試制度が変更し、学区が拡大して進学先が尼崎学区8校から第2学区の34校に増え、選択肢が増えたことは、今までより自分に合った学校、行きたい学校を選べるようになりました。

しかし、学区が拡大した関係で近隣の市町からも旧尼崎学区の高校へ希望する生徒が増えたことも事実です。尼崎は全県下に点在する高校が集積していると考えられます。単位制高校、総合学科、体育科、商業系の職業科、建築・機械・電気等の工業科、英語に特化した国際探求コース、科学に特化したサイエンスリサーチ、多部制高校、定時制高校、普通科以外に様々な特色を持った学校が多く、通学も便利なこともあり周辺市からの希望が増加しています。

全日制高校が駄目だったから、定時制にしよう・・・なんて考え方では高校進学は困難です、現に最近の入試状況を見ていると、定時制高校や多部制の高校も一般入試と同じ日程でほぼ定員を満たしている場合が多いです。

本当に将来どんな職業に就くのか、どの様な方面の職を探すのかしっかりと考えて、そのためにはどの高校へ進学するのがよいのか、目的・目標を持って選択してほしいと思います。特に将来への夢や希望もなく何となく近いからとか、友達が行くから、とか親が行けといったから、というような選択をして進学した生徒の中から中途退学者や途中からの進路変更者が出ていることは間違い有りません。

夢や希望、目標が無くただ何となく高校受験が目標になってしまい、高校に合格してしまふと満足感から勉強も何もしなくなる、そんな生徒もたくさんいて高校の先生方も入学後の生徒達に将来の目標を持たせるためのキャリア教育に力を注いでいらっしゃいます。キャリア教育というのは、将来どんな職業に就いてどんな人生を送るか、ということですが、これは極端に言えば生まれた時から選択が始まっているとも言えます。1年生も2年生も他人事ではありません、将来を見据え人生の最初で大きな分岐点となる高校受験について、その先の人生も含めて考えてみて下さい。

複数志願選抜方式豆知識

合格判定は、内申点250点と当日の5教科の試験の1/2の250点の合計500点満点で判定しますが複数志願選抜の場合、第1志望校を優先するため加算点20点が持ち点として加えられ、合否判定がされます。

ということでこの加算点20点を如何に上手に使うって学校を選択するか、同じような力の学校を2校選択すると両方とも駄目になる可能性が高いのです。

頑張れ！可愛い選手たち



台風一過、秋晴の空の下、武庫北幼稚園の運動会がありました。

準備体操やダンス、バトンではなくてリングでのリレー、運動会恒例の

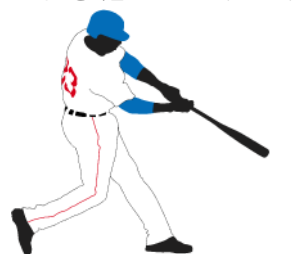
玉入れ等々精いっぱい頑張っていました。君達もこんな可愛いころがあったんですよ、たまには懐かしい写真を開いてみるのもいいかもしれませんね。昔の事を思い出して素直になって当時のような可愛いかったころに戻れるかも？・・・どうでしょうか



頑張れ！チーム常陽！

一番遅かった陸上部の市内総体が終わり、各種目においては新人戦が始まりました。3年生の先輩方の総体での頑張りを思い出し、しっかりと伝統を引き継いでそれぞれの種目で頑張ってください。

野球部が先陣を切って9月に新人戦がありました。実によく頑張っていたが、最終スコアが2対1で負けてしまいました。ゲームの流れは最終回一気に常陽に傾き追いつき逆転のチャンスかと思ったのですが、惜しくも1点差で終わってしまいました。今がスタートです、ここから這い上がって上位のチームにチャレンジしていきましょう。



今週末からバスケットボールやバドミントンが始まります、県大会や全国大会へ出場していたので新チームのスタートが出遅れているかも知れませんが、焦らず目の前の勝負に集中して一試合ずつ大切に戦ってください。

そして、17日には市立中学校総合体育大会がベイコム陸上競技場で開催されます。学校代表になった人は、まずしっかりと行進をする、そして各自の競技で頑張ってください。



《今月の言葉》 = 理想の自分に近づくために =

『 倒れても立ち上がり、
 歩き続ける事が大切 』

時には立ち止まって休んでもいい。
 再び歩き出せるかが、目標達成の分かれ道。